

富山福祉短期大学活動報告

◆活動取組みの紹介

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者数	5	7	8	13	17	10	13	16	5	1	3	2	100
延べ参加件数	7	8	12	18	21	13	17	17	8	1	3	2	127
回答者数	90	68	46	62	39	40	45	50	33	29	23	17	542
案内件数	10	8	13	13	18	12	9	2	2	2	4	4	97

本学では、年間 97 件のボランティア依頼を学生に案内し、延べ参加者数 100 名、延べ参加件数 127 件の参加がありました。

また本学の学生たちは多様なサークルを通じて活発なボランティア活動を展開しました。サークル「ほっとスマイル」では、射水市子ども権利支援センターを月に1~2回訪問し、子どもたちの居場所づくりや「誰でも健康診断」などのイベントを企画しました。「ふくたん学生消防団」は、射水市消防団と連携し、出初式への参加や、学園祭での消火・AED 体験ブースの運営、さらには地域での防火呼びかけなど、防災意識の向上に努めました。また、「車いすバスケットサークル：REAL」は南砺市の地域活動支援センターと交流試合を行い、「ハグはぐボランティアサークル」は重症児デイサービスで学習支援や遊びの見守りを実施しました。「子ども支援協会」は地域の納涼祭での運営補助を行うなど、多くの学生が地域に貢献しました。さらに、看護学生による地域活動の成果は、インドネシアで開催された国際会議でもポスター発表されました



◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

学生たちは、活動を通じて直接的な交流から大きな喜びを得ています。子どもたちが名前を覚えて笑顔で話しかけてくれたり、活動を心待ちにしてくれている姿に、学生自身も元気をもらっています。車いすバスケットの交流では、シュートが決まった瞬間の大歓声やハイタッチを通じて、参加者全員が笑顔になれる一体感にやりがいを感じています。

消防団活動では、習得した知識や技術を地域の人々に伝えることで自身のモチベーション向上に繋がっています。また、サークル活動で実践したバイタル測定や車椅子介助、感染対策などの技術は、実習前に現場で学ぶ貴重な機会となり、自身の成長を実感できる点も大きな喜びとなっています。



学生の声「イベントでは、高齢者や障害のある方、児童など、さまざまな世代の方々と交流する機会があり、楽しい時間を共有しています。活動を通して、人と人とのつ

射水市ボランティア推進校育成支援事業

なかりを大切にし、自然なコミュニケーションが生まれる温かい雰囲気づくりを心がけています。」

◆最後にひとこと

ボランティアセンター担当教員として、今後も学生たちが地域社会との温かい「つながり」を築ける場を大切にし、活動を通じて専門技術や豊かな人間性を育めるよう、多様な機会の提供と成長のサポートに努めてまいります